

森の植物や鳥・虫などの動物を紹介します。



## 森で野生のサクラが咲き始めました！

各地で、「ソメイヨシノ」の開花がはじまるなか、公園内の森でも野生のサクラ(自生種：地域に自然に存在する種)の「ヤマザクラ」と「エドヒガン」が開花しました。

秋から春にかけて咲いていた公園西側道路沿い並木の「四季ザクラ」の花も、負けずに咲いています。

(「四季ザクラ」は、エドヒガンとマメザクラの交雑種、「ソメイヨシノ」は、エドヒガンとオオシマザクラの交雑種と考えられていて、野生のサクラではない園芸品種(交雑種：交配などによって作られた種)です。)



## 「ヤマザクラ」と「エドヒガン」の特徴

### ①「ヤマザクラ」(バラ科)

野生のサクラの代表種で、花が咲くのと同時に若葉がでるのが特徴です。山で野生のサクラを見つけたら、たいていは「ヤマザクラ」です。

大木になり、寿命は百年以上あります。樹皮がきれいで、「ヤマザクラ」の皮を使った茶筒などの樺(かば)細工は有名です。森でも「ヤマザクラ」の間伐木や枝をクラフトに利用しています。



樺細工

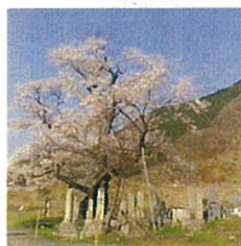


「ヤマザクラ」の花

### ②「エドヒガン」(バラ科)

花の付け根が丸くふくらんでいるのが、他のサクラの花に見られない「エドヒガン」の特徴で、枝がしだれるシダレザクラは、「エドヒガン」の変種です。

長寿のサクラで、県内には、「清水(しょうず)のサクラ」(推定樹齢300年：高島市マキノ町)や「畑のシダレザクラ」(推定樹齢400年：甲賀市信楽町)などの巨木があります。



清水のサクラ



「エドヒガン」の花

(裏面地図→「ヤマザクラ」、「エドヒガン」お花見スポット)